

●議事概要（速報）

※正式な議事録については、後日HP上に公開しますので、そちらをご参照下さい。

1) アジア・ゲートウェイ構想について

事務局より、アジア・ゲートウェイ構想の検討状況における、港湾に係る部分について説明を行った。

2) 我が国産業の国際競争力強化を図るための今後の港湾政策のあり方について

事務局より、「我が国産業の国際競争力強化等を図るための今後の港湾政策のあり方中間報告（素案）」について説明を行った。

委員からの意見、要望を踏まえ、記述の充実や検討を進めていくこととなった。

なお、委員からの主な意見、要望は次のとおり。

○基本方針について

- ・ 最近の情勢の変化への対応だけでなく、根幹的な港湾の使命や役割についても記述しておくべきではないか。
- ・ 港湾政策は、我が国の産業競争力の基礎となるものであることから、国がもっと強く関与して施策を進めていくという方針を出すべきではないか。
- ・ アジアの国々は凄まじいスピードで成長しており、情勢の変化も著しいことから、「スピード感を持って」港湾施策を推進すべきであることを明記すべき。

○今後推進すべき具体的港湾施策について

- ・ これからのアジアの隆盛を考えると、欧米との長距離輸送のみならず、アジアと我が国の地方の港湾とを結ぶ中短距離輸送も重要である。アジアと地方の港湾とを結ぶコンテナ船やRORO船、国際フェリーの中短距離ネットワークに対する施策についても、長距離輸送政策であるスーパー中枢港湾政策と同じくらいの重みをもって、施策を打ち出すべき。
- ・ スーパー中枢港湾政策と地方の港湾の政策は対立概念としてとらえるのではなく、先導的な取り組みをスーパー中枢港湾で行い、それが地方の港湾政策へ波及していくという観点が必要だ。

- ・ その際、なぜ地方の港湾が発展していかないのかということについても分析し、その活性化策、利活用方策についても示していくことが重要。
- ・ 日本海側の港における外貿コンテナ航路が増えているなか、日本海側の港と太平洋側の港の道路ネットワークによる連携や相互の役割分担についても、今後、検討していくべきではないか。
- ・ 世界のコンテナ物流の約半分を占めるアジア域内物流について、統一的なデータにより効率的な物流ネットワークを形成することが重要であることから、アジアブロック内で、互惠的情報プラットフォームのようなものを構築すべきではないか。
- ・ 「環境に優しい」といった点は、港の国際競争力を考える上でも重要であるので、港湾として取り組みうる環境施策についても記述すべきではないか。
- ・ 港湾政策にとっての物流環境の急激な変化などに対するリスクマネジメントが重要。今後の動向がどのように変わっても港湾政策が柔軟に対応できるようにする必要がある。

以上